

平成 29 年度

横浜市動物愛護管理業務実施結果

- 1 動物の愛護・適正飼育普及啓発事業
- 2 猫の不妊去勢手術費用の補助
- 3 災害時のペット対策
- 4 犬猫のマイクロチップ装着費用の補助
- 5 収容動物の譲渡事業
- 6 飼い主のいない猫を適正に管理する地域猫活動モデル事業
- 7 狂犬病の予防
- 8 動物関係団体や市民ボランティアとの協働体制
- 9 動物取扱業の登録及び監視指導
- 10 特定動物の飼養保管許可
- 11 市民利用施設としての動物愛護センター

1 動物の愛護・適正飼育普及啓発事業



人と動物とが快適に暮らせる街づくりを目指して、飼い主や市民の皆さまに動物の愛護や適正飼育等を知っていただき、動物の飼育に関するマナーの向上や犬による咬傷事故の防止等を推進しました。

- (1) **愛犬の正しいしつけ相談室** 訓練士による飼い主との個別相談
【 4月～3月 9回 57人 】
- (2) **犬、猫について学ぼう** 小学生を対象とした動物の適正飼育について学ぶイベント
【 8月17日 85人 、8月18日 52人 】
- (3) **お手入れ教室** 家庭で行う犬のお手入れについての教室
【 5月～1月 3回 16人 】
- (4) **わんにゃん教室** 未就学児や小学校低学年対象の動物愛護や咬傷事故の防止等の教室
【 7月～10月 5回 204人 】
- (5) **わんにゃんファミリー
コンサート** 主に保育園児、幼稚園児等を対象とした動物愛護イベント
【 11月12日 426人 】
- (6) **高齢動物セミナー** 老化のサインやシニア期のケア等についての講習、ケア用品
【 7月～3月 3回 113人 】
- (7) **動物愛護フェスタ** 動物愛護週間(毎年9月20日～26日)に合わせて行う動物愛護イベント
【 9月23日 11000人 】

◎ 動物に関する相談などについて

本市には、動物の飼育に関する様々な相談などが寄せられます。個々に対応するとともに、動物の適正飼育やマナー向上等を推進しました。

(1) 犬の苦情等件数の推移

		H27年度	H28年度	H29年度
苦情等内容件数		2,792件	2,488件	2,005件
内訳	野犬等保護	157件	141件	120件
	放し飼い	124件	76件	101件
	ふん尿	1,435件	1,410件	1,202件
	鳴き声	281件	221件	232件
	身体・器物の被害	110件	103件	110件
	不適切な取扱い・虐待	48件	73件	67件
	登録・注射に関すること	372件	305件	78件
	その他	265件	159件	95件

(2) 猫の苦情等件数の推移

		H27 年度	H28 年度	H29 年度
苦情等内容件数		3,651 件	3,190 件	2,260 件
内訳	ふん尿	1,058 件	857 件	733 件
	臭気・毛	74 件	72 件	56 件
	鳴き声	81 件	66 件	37 件
	身体・器物の被害	90 件	71 件	85 件
	不適切な取扱い・虐待	73 件	76 件	65 件
	収容に関する相談	967 件	997 件	721 件
	その他	1,308 件	1,051 件	563 件

2 猫の不妊去勢手術費用の補助



飼い主のいない猫を減らすため、不妊去勢手術費用の一部補助を行いました。

平成 29 年度補助の内容

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の補助：一頭につき 5,000 円

◎ 猫の不妊去勢手術推進事業の実績（頭数）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
飼い主のいない猫	3,532	3,287	4,098
飼い猫にする猫	1,101	1,337	-
飼い猫	2,980	3,192	-
総数	7,613	7,816	4,098

※ 平成 29 年より補助の対象から飼い猫及び飼い猫にする猫を除外し、飼い主のいない猫のみとした。

3 災害時のペット対策



平成22年度に策定した「災害時のペット対策」を市民の皆さまに広く知っていただくとともに、各地域防災拠点における災害時のペット対策の具体的な計画づくりやペットの同行避難実施のための支援を行いました。

(1) ペットの防災関連展示等実施状況

平成27年度：15区（鶴見、神奈川、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、栄、泉、瀬谷）、動物愛護センター

平成28年度：15区（鶴見、神奈川、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都築、戸塚、栄、泉、瀬谷）

平成29年度：17区（鶴見、神奈川、中、南、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、栄、瀬谷）

(2) ペットの同行避難訓練実施状況

平成27年度：9区18拠点、延参加人数 3,311人、延参加動物数65頭
（神奈川、港南、旭、金沢、港北、緑、青葉、都筑、栄）

平成28年度：11区19拠点、延参加人数 4,533人、延参加動物数142頭
（鶴見、神奈川、港南、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、瀬谷）

平成29年度：13区24拠点、延参加人数 5,951人、延参加動物数124頭
（鶴見、神奈川、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、泉、瀬谷）

4 犬猫のマイクロチップ装着費用の補助



迷子になったペットが飼い主の元にもどるために有効なマイクロチップ装着費用の一部を補助しました。

平成 29 年度補助の内容

マイクロチップ装着費用の補助：500 頭を対象に一頭につき 1,500 円

◎ マイクロチップ装着推進事業の実績（頭数）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
犬	147	140	100
猫	244	222	301
計	391	362	401

5 収容動物の譲渡事業



譲渡は、動物愛護センターから個人へ直接譲渡する個人譲渡のほか、動物愛護センターから譲渡を受けた団体が個人への譲渡を行う団体譲渡、公益社団法人横浜市獣医師会会員の動物病院を経由した譲渡など、様々な方法で譲渡を進めました。

(1) 平成 27 年度から平成 29 年度までの譲渡実績

	平成 27 年度				平成 28 年度				平成 29 年度			
	譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳		
		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会
犬	110	16	93	1	76	3	72	1	101	6	92	3
猫	519	107	192	220	521	90	190	241	483	74	183	226
その他	9	4	4	1	4	2	1	1	2	1	0	1

* 譲渡団体登録数 41 団体（平成 30 年 3 月末）

(2) 譲渡前講習

譲渡を希望される個人の方に対し、正しい飼育方法や飼育に関する基本的なマナー、関係法令、動物由来感染症等に関する講習を実施しました。

（ 犬： 個別講習 5 組 7 人
猫： 個別講習 79 組 160 人 ）

6 飼い主のいない猫を適正に管理する地域猫活動モデル事業



「横浜市猫の適正飼育ガイドライン」（平成25年横浜市）の趣旨に基づき、飼い主のいない猫に起因するトラブルを減らすとともに、飼い主のいない猫を減少させていくことを目的として、地域猫活動モデル事業を平成25年6月より実施しました。

◎ 登録状況等（平成30年3月末）

【 3区4地域（鶴見区、神奈川区、港北区） 、手術実施頭数 24頭 （H29年度は1頭実施） 】

7 狂犬病の予防



狂犬病の発生やまん延を予防するため、狂犬病予防法に基づく犬の登録・狂犬病予防注射の必要性、飼い主の義務について広く市民にお知らせし、犬の登録と注射の実施の促進を図りました。

◎ 横浜市の登録犬の狂犬病予防注射接種率の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録数	180,033	178,302	177,016
注射済票交付数	136,667	133,583	133,472
接種率	75.9%	74.9%	75.4%

8 動物関係団体や市民ボランティアとの協働体制



市民ボランティアについては、現在、「人と動物との共生推進よこはま協議会」の推薦を受けた方や公募により登録をした方々に、譲渡対象の犬や猫の飼育管理のお手伝い等をしていただいています。

市民ボランティア登録数 58人（平成30年3月末）

◎ 活動実績

啓発ボランティア（お悩み相談、セミナー補助等）：12回 のべ24名

哺育ボランティア：45回 118頭

9 動物取扱業の登録及び監視指導



動物愛護センター及び各区福祉保健センター生活衛生課が、登録業務や監視を行い、施設の状況、取扱う動物の管理の方法等を確認しました。

◎ 第一種動物取扱業 登録数及び監視件数の推移

年度	登録施設数	業種別登録数						登録数計	施設検査数
		販売	保管	貸出し	訓練	展示	譲受飼養		
平成 27 年度	1,239	400	910	41	185	41	3	1,580	336
平成 28 年度	1,261	389	939	45	195	51	6	1,625	654
平成 29 年度	1,326	398	987	44	207	55	5	1,696	596

10 特定動物の飼養保管許可



人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物として定められている特定動物を市内で飼養するには市長の許可が必要です。

平成 29 年度にはアフリカニシキヘビ、ナイルワニなど新たに 59 件の許可を行いました。

◎特定動物の飼養許可状況について(平成 30 年3月 31 日現在)

種類 区分	霊長目		食肉目		長鼻目		奇蹄目		偶蹄目		タヌキ目	
	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数
施設数等	5	103 (0)*	8	66 (7)	2	5 (0)	2	6 (0)	3	8 (0)	0	0 (0)
種類 区分	タカ目		カメ目		トカゲ目		ワニ目		合計			
	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所**		頭数	
施設数等	3	6 (1)	8	15 (5)	8	36 (8)	5	18 (2)	24		263 (23)	

* 頭数の () は、愛がん目的の飼養頭数になります。その他の目的には、販売、展示、試験研究等があります。

**箇所の合計は、対象施設数です。

11 市民利用施設としての動物愛護センター



動物愛護センターには研修室、飼育体験実習室、芝生のふれあい広場があり、市民利用施設としてサークル活動、地域町内会活動などに広く利用できます。

平成 29 年度は 3,352 人が市民利用施設として利用しました。なお、見学者、事業参加者を含めると 6,664 人が動物愛護センターを訪れました。

主な利用者：市民グループ（ドッグダンス、ノーズワーク等）、市関係団体（横浜市職員研修 等）

◎ 犬の収容頭数、返還数、譲渡数及び致死処分数等

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
収容頭数	総数	407	336	324	271	294
	飼い主不明犬	314	257	230	223	182
	飼えなくなった犬	85	74	87	44	107
	傷病犬	8	5	7	4	5
返還数		204	176	172	165	138
譲渡数		101	125	110	76	101
致死処分数		110	42	40	36	29
自然死		5	3	2	0	4
死体搬入		0	2	3	3	0

◎ 猫の収容頭数、返還数、譲渡数及び致死処分数等

* カッコ内は91日齢未満の幼猫の頭数（内数）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
収容頭数	総数	1,424	1,319 (992)	1,372 (960)	1,306 (937)	1,179 (772)
	飼い主不明猫	863	782	797	710	588
	飼えなくなった猫	120	100	87	96	185
	傷病猫	441	437	488	500	406
返還数		10	8 (0)	17 (1)	15 (3)	16 (4)
譲渡数		388	366 (177)	519 (235)	521 (308)	483 (386)
致死処分数		565	577 (445)	514 (383)	404 (266)	387 (247)
自然死		245	158 (115)	109 (54)	134 (90)	116 (84)
死体搬入		247	238 (108)	209 (72)	225 (82)	179 (67)